



名前の「～すけ」、「～えもん」はなぜついたの

「すけ」は位の高い役職名にあやかってつけた

テレビで江戸時代の時代劇を見ていると、「～すけ」とか「～えもん」という名前の武士が出てきて、チャンバラをやったりしていますね。

実は、この「すけ」は、大宝律令（701年）で定められた役職名で、四等官という役人の位の2番目の地位で、長官の仕事をおぎなったり、時には、その仕事の代理をつとめたりする次官のことで、役所の種類によって「すけ」の字はいろいろに書かれ、「輔」「助」「亮」「介」「佐」などの字が使われました。

「～すけ」という名前は、このように、位の高い人の役職名にあやかって、つけられたものと思われま。名前では、「助」という字が使われるのがふつうです。

「えもん」は皇居を守る「衛門府」からつけた

「衛門」というのは、「衛門府」の略です。「衛門府」とは、皇居を守ることを役目とする役所で、皇居のいろいろな門を警備したり、天皇がお出かけのときなどの、案内役などをつとめました。守る門によって、左衛門と右衛門とがありました。

このよび名が、人の名前でも使われるようになったのです。やはり、昔のりっぱな役職にあやかりたいと願って、名前を「～えもん」としたのでしょう。（監修・田代 脩）

